

三島市の文化振興の取組み

アナ： 「市長が語る 2018 三島」、第 12 回の今日は、「三島市の文化振興の取組み」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 最初に、今年度の三島市では「文化振興」についてどのような取組みを予定されているのでしょうか。

市長： まず、ハード面の事業から説明をさせていただきます。

市民の皆様にお馴染みの「三島市民文化会館」ですが、平成3年に開館して以来、すでに27年が経過しておりまして、長い年月の経過により、舞台装置として重要な音響設備や照明設備などの機能劣化が懸念されております。このような設備の「故障リスク」は年々高まっておりまして、計画的に大規模改修を実施していく予定です。

アナ： なるほど、市民文化会館は大規模な改修が必要な時期に差し掛かっている、ということなのですね。

市長： そのような中、今年度は、来場者の安全を確保するため、大ホールと小ホールの天井落下の防止対策として、特定天井の補強工事を他の工事に先行して行います。なお、この補強工事は夜間に実施するため、工事期間中でも、文化会館は開館しておりますので、安心してご利用いただきたいと思っております。

アナ： 天井以外のその他の改修工事はどのように進められるのですか。

市長： 音響や照明の設備などを含めたその他の改修工事につきましては、今年度を実施設計を行い、来年度の平成31年度以降に工事に着手することを検討しているところです。

なお、今後予定している大規模改修工事では、概ね1年間、市民文化会館を休館する必要がありますので、併せて検討しているところです。

市民の皆様、利用者の皆様にはご迷惑をおかけすることとなりますが、最新の設備となりますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

アナ： なるほど、かなり大掛かりなりニューアルになるのですね。生まれ変わった市民文化会館の完成が楽しみです。

続いて、ソフト事業についてはどのような取組みをされるのでしょうか。

市長： 現在三島市では、平成28年3月に策定しました「三島市文化振興基本計画」に掲げました“10年後の将来像”＝「創造力あふれる人とまち・みしま」を目指して様々な文化振興施策を展開しておりますが、「クリエイティブシティ推進事業」をその中の重点プロジェクトとして推進しているところです。

具体的に申し上げますと、小学生を対象にした「アニメーション作成のワーク

シヨップ」や「演劇の手法を取り入れたワークショップ」といった子ども達の創造性などを育むクリエイティブ教育を進めるとともに、佐野美術館の刀剣展示会に合わせて実施するオンラインゲーム「刀剣乱舞-ONLINE-」とのコラボ企画、市内の中学2年生を対象に実施する静岡交響楽団の演奏を楽しむための「静岡県芸術鑑賞教室」などを開催してまいります。

アナ： いろいろな取り組みを行っているのですね。その他には、どのような取り組みを予定しているのでしょうか。

市長： 2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、三島市ではオリンピック開催を「スポーツ・文化によるまちづくりの好機」ととらえています。今年度はオリンピックの機運をさらに醸成していくため、市内で行われる文化事業について、「東京2020応援プログラム」にエントリーしてまいります。

6月6日に東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン首長会議が開催されましたが、その紹介資料の中に「三嶋大祭り」が“Beyond2020”の取組みとして紹介されていました。今後、海外に向けても情報発信がされます。

また、三島市単独の事業といたしましては、市内在住の絵本作家：宮西達也先生に市内小学校14校全てで絵本の読み聞かせのワークショップを実施していただくほか、今年度からは幼稚園・保育園でも様々なワークショップを実施してまいります。子どもたちに文化・芸術を体験する機会を提供し、文化についても2020年以降のレガシー創出につなげていきたいと考えております。

アナ： オリンピックはスポーツだけでなく、文化の祭典でもある、ということですね。

市長： その通りです。また、市民登録参加型の文化フェスティバル「みしまの文化百花繚乱」を今年度も実施いたします。「文化は敷居が高い」などと思わずに、気軽にお出かけいただきたいと思えます。「三島の宝」である文化的な場所や取組みに「参加する」という市民の皆さん一人ひとりの活動が、三島の文化度を高める原動力になるものと思っています。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。